

NEWSLETTER

比較経済体制学会

No.63 December 2019

Contents

- ・ 比較経済体制学会 2020 年度第 60 回全国大会開催のお知らせ
- ・ 比較経済体制学会第 9 回研究奨励賞の決定
- ・ 学会機関誌編集委員会からのお知らせ
- ・ 第 10 回 ICCEES 世界大会（カナダ・モントリオール，2020 年 8 月 4-9 日）Call for paper の締め切り延長（2019 年 12 月 31 日まで）
- ・ EACES（欧州比較経済学会）関連の研究会等のお知らせ
- ・ 新入会員のご紹介
- ・ 日本経済学会連合 2020 年度補助申請に関するお知らせ
- ・ 事務局だより

比較経済体制学会 2020 年度第 60 回全国大会開催のお知らせ

比較経済体制学会 2020 年度全国大会は、2020 年 6 月 20 日（土）、21 日（日）の二日間にわたって、西南学院大学（福岡市）で開催される予定です。大会初日（20 日）に実施予定の共通論題のテーマと報告者が決定しましたので、お知らせします。

共通論題：自由貿易体制の動揺と今後：比較経済体制論の視角から

報告者：上垣彰（西南学院大学）、宇山智彦（北海道大学，非会員）、金野雄五（みずほ総研）、樋渡雅人（北海道大学）、堀江典生（富山大学）、渡邊真理子（学習院大学）（あいうえお順，敬称略）

「自由貿易体制の動揺」というのは、特にトランプ政権の出現により、これまで WTO を中心として築かれてきた体制、自由貿易を促進する様々な枠組みが揺るがされていることを指します。米中の貿易戦争、イギリスの EU 離脱騒動、日韓のコンフリクト等々です。トランプだけでなく、各国にミニトランプのような指導者が次々に現れている事態を見ると、自由貿易体制はもう過去のもので、トランプが来年までに姿を消しても、そこにはもう戻らないのではないかとさえ思われてきます。このような問題意識から、この現象をどうとらえたらよいのか、このことは今後の世界の対外経済関係、多国間の取組み、各国の経済体制・政策にどのような影響を及ぼすのかについて考察します。なお、適当な言葉がないので、自由貿易体制としていますが、労働力や資本の移動など、財の貿易以外の対外経済関係も視野に入れています。共通論題は、6 月 20 日（土）を予定しています。

前号のニューズレターNO.62でもお知らせしたように、自由論題の報告者の募集を引き続き行っています。自由論題での発表を希望する会員は、以下の事項を下記連絡先にお知らせください。応募締め切りは、2020年3月31日（火）午後5時です。

- (1) 氏名・所属・連絡先
- (2) 報告論題
- (3) 報告内容の骨子（400～600字程度）

自由論題応募先：

樋渡雅人

〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院経済学研究院

E-mail: mhiwatari[at]econ.hokudai.ac.jp ※[at]を@に変更ください。

報告希望は、最大限尊重するつもりですが、会場等の都合により、ご希望に添えない場合もあります。あらかじめご了解ください。なお、パネルセッションをご希望の際は、下記の大会プログラム委員会へお早めにご相談ください。

大会組織委員長：上垣彰（西南学院大学）

大会組織委員：小出秀雄（西南学院大学）、志田仁完（環日本海経済研究所）、武田友加（九州大学）、柳学洙（北九州市立大学）

大会プログラム委員長：田畑伸一郎（北海道大学）

大会プログラム委員：安達祐子（上智大学）、上垣彰（西南学院大学）、梶谷懐（神戸大学）、樋渡雅人（北海道大学）

.....

（大会プログラム委員会）

なお、比較経済体制学会第59回全国大会会員総会で承認された「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」（前号ニューズレターNO.62の8頁に全文記載）は、本大会より適用されます。現在、申請書等の必要書類を作成しており、準備が出来次第、本学会のWEBサイトや会員向けメーリングリスト等にてお知らせします。

（事務局）

2018年度（2017年度—2018年度）

比較経済体制学会第9回研究奨励賞の決定

比較経済体制学会第9回研究奨励賞審査委員会（審査委員長：上垣彰会員、審査委員：堀江典生会員、雲和広会員、志田仁完会員、武田友加会員）は、機関誌掲載による選考対象作の中から厳正なる審査の結果、以下のように受賞者を決定し、9月初旬に持ち回りで開催された比較経済体制学会幹事会で報告されました。なお、第9回研究奨励賞授賞式は、2020年度全国大会（西南学院大学）において行われます。

受賞者：山田大地会員 対象論文：山田大地「出稼ぎ労働移民、教育投資およびジェンダー：タジキスタンの実証分析」『比較経済研究』第56巻第1号（2019年1月）49-65頁
全文：https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjce/56/1/56_1_49/_pdf/-char/ja

第9回比較経済体制学会研究奨励賞 審査結果報告

候補作は、山田大地「出稼ぎ労働移民、教育投資およびジェンダー：タジキスタンの実証分析」『比較経済研究』（56巻1号：2019年1月）の1点のみであった。我々審査委員は、慎重に検討した結果、同論文は、比較経済体制学会研究奨励賞を授与するに値する優れたものであるとの結論に達した。

本論文は、「タジキスタンにおいて、親の国際出稼ぎ労働移民が母国に残った子供の教育投資を促進するか、実証的に分析」しようとするものである。筆者の結論は、「親や家計メンバーの移民は女子就学率に対して、とくに親の教育水準が低いときに、負の効果を持つ一方で、男子の就学率にはとくに影響を持たない」、「またジェンダー格差の観点から考えると、移民は教育のジェンダー格差を拡大させていると言え、女性の人的資本形成、所得向上あるいはエンパワメントという観点からも問題となりうる」というものである。本論文は、研究上・政策上、焦眉の重要問題でありかつ研究のメインストリームに位置付けられる分野に、正面から取り組んだもので、対象に対する真摯な姿勢に貫かれている。また、考察を、ジェンダーによる効果の差というより鮮明な問題に凝縮させて、行っている点も重要である。さらに、中央アジアの家族のあり方、イスラーム社会のあり方を再考する上で、興味深い論考となっている。

本論文は、新興市場経済分析と開発経済学との架け橋と見なし得るような研究であり、その将来的可能性を充分感じる事が出来るものになっている。我々審査委員は、全会一致で、本論文を研究奨励賞に推薦することとした（研究奨励賞審査委員会委員長 上垣彰）。

学会機関誌編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフェリー制投稿誌として、年2回発行しています。

学会幹事会の委嘱により、第56巻及び第57巻は、白石麻保編集委員長（北九州市立大学）、安達祐子副編集委員長（上智大学）、岩崎一郎副編集委員長（一橋大学）、三嶋恒平編集委員（慶應義塾大学・56巻1号担当）、志田仁完編集委員（環日本海経済研究所・56巻2号担当）、柳原剛司編集委員（松山大学・57巻1号担当）、樋渡雅人編集委員（北海道大学・57巻2号担当）の7名が、その編集を担当しております。どうぞよろしくお願い致します。

学会機関誌『比較経済研究』第57巻1号が近日刊行の予定です。その内容は、次の通りです。

特別寄稿論文

Josef C. Brada, The BRICS Then and Now: Some Lessons from History

特集 新興市場経済システムの光と影

濱口伸明「ブラジル経済社会の不安定性」

田畑伸一郎「ロシア経済の強さと弱さ」

黒崎卓「新興市場経済としてのインド：2016年廃貨政策を題材に」

丸川知雄「中国の産業政策の展開と「中国製造2025」」

書評

新井洋史編著『ロシア企業の組織と経営—マイクロデータによる東西地域比較分析』（横川和穂）

Byung Yeon Kim, *Unveiling North Korean Economy: Collapse and Transition*（文浩一）

Abstracts

比較経済体制学会 2019年度全国大会プログラム

学会機関誌投稿・執筆要綱

ご寄稿いただいた先生方には、ご尽力賜りましたことに心より御礼申し上げます。

なお、『比較経済研究』57巻1号は刊行後、科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)にもアップロードされますのでそちらもご活用ください。

投稿原稿(論文(400字×55枚以内)、研究ノート(400字×45枚以内)、書評(400字×17枚以内))を募集中です。原稿は随時受け付けていますが、上記にその内容をご紹介いたしました57巻1号(2019年1月刊行予定)への投稿は、2018年8月末に締め切りました。次号57巻2号(2020年6月刊行予定)の投稿〆切は、2019年12月末です。同号に掲載ご希望の会員は、樋渡雅人編集委員(mhiwatari[at]mark]econ.hokudai.ac.jp)に原稿をご提出ください。但し機関誌の企画及び査読の都合上、上記締め切り直近の刊行号に掲載されない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

当学会に連続2年度以上在籍している若手研究者(院生会員及び年齢40歳以下の正会員)が単独執筆した機関誌掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応募資格を持つ会員の皆様は、特に奮ってご投稿ください。

お知らせ

『比較経済研究』は、独立行政法人科学技術振興機構が運営する科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)の登録雑誌です。最新号を含む全てのバックナンバーが閲覧可能です。どうぞ御活用ください。電子版トップページのアドレスは、<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjce/-char/ja/>です。

(学会機関誌編集委員会)

第10回 ICCEES 世界大会(カナダ・モントリオール、2020年8月4-9日)

Call for paper の締め切り延長(2019年12月31日まで)

前号のニューズレターNO.62でご案内した第10回 ICCEES 世界大会(カナダ・モントリオール、2020年8月4-9日)のcall for paper の締め切りが今年末(12月31日)まで延長されました。詳細は、以下の大会WEBサイト<<https://sites.events.concordia.ca/sites/iccees/en/iccees2020>>をご覧ください。ご関心をお持ちの会員には、どうぞ積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

(事務局)

EACES(欧州比較経済学会)関連の研究会等のお知らせ

本学会と提携関係にあるEACES(欧州比較経済学会)が主催・共催している研究会等の今後の予定は以下のとおりです。次回の年次大会(biannual conference)は、イタリア(ナポリ)の Parthenope University Naplesで2020年9月10-12日に開催予定です。詳細につきましては、EACESのWEBサイト<<http://www.eaces.eu/>>をご覧ください。

The European Union's contention in the reshaping global economy
21st March 2020 - 22nd March 2020
Szeged, Hungary

EACES Workshop 'PUBLIC PROCUREMENT IN CENTRAL AND EASTERN EUROPE AND RUSSIA'
9th April 2020 - 10th April 2020
Moscow, Russia

12th Joint IOS/APB/EACES Summer Academy on Central and Eastern Europe
6th July 2020 – 8th July 2020
APB Tutzing, on Lake Starnberg near Munich, Germany

The next biannual conference will be organized by Francesco Pastore and take place at Parthenope University Naples from September 10–12, 2020. The call for papers will be published in due course.

(事務局)

新入会員のご紹介

田中素香 中央大学経済研究所（推薦者：上垣彰会員・田畑伸一郎会員）

(事務局)

日本経済学会連合 2020 年度補助申請に関するお知らせ

日本経済学会連合より、2020 年度補助事業の一環として(1)外国人学者招聘滞日補助、(2)国際会議派遣補助、(3)学会会合費補助の要項が提示されました。それぞれの補助内容の詳細については、日本経済学会連合の WEB サイト<<http://www.ibi-japan.co.jp/gakkairengo/htdocs/info/hojoindex.html>> でご確認ください。

日本経済学会連合の補助は、加盟学会単位での申請です。特に、国際会議派遣補助については 1 学会 1 件の申請となっており、加盟学会代表者の推薦を受けることが条件となっております。また、第一次募集においていずれかの補助を受けた場合、第二次募集には学会として応募することが出来ません。更に、2 年連続して同一学会が同じ項目に関する補助を受けることも出来ません(項目が異なる申請は認められます。つまり、上記の(1)が n 年に採択された上で、n+1 年に(2)が採択されることはあり得ます)。なお、前号のニューズレター NO. 62 でお知らせしたように、2019 年度に本学会より雲和広会員(一橋大学)の派遣助成が採択されたため、2020 年度の(2)国際会議派遣補助の申請は本学会として出来ません。

比較経済体制学会事務局では、上記補助をご希望の方々からの申請を受け付けています。応募ご希望の会員の皆様は、上記の WEB サイトにて申請書をダウンロードし、必要事項と各申請に必要な書類を同封のうえ、事務局までお送りください。事務局受付締切日は、事務処理に要する時間制約を鑑みまして、各募集締切日の 1ヶ月前とします。詳しくは上記の WEB サイトをご覧ください。また今年度から、締め切りが 3 回に亘ることとなりました。こちらも上記 WEB サイトにてご確認のほど宜しくお願い致します。

応募者多数の場合は、幹事会において選考のうえ、本学会として推薦する応募を選定します。ただし本学会の推薦が補助決定を約束するものではありません(多くの申請があった際には半分以上が不採択になったことも過去にあります)。また、申請金額がそのまま満額助成されるとは限らず、実際の助成金額は日本経済学会連合の審査によって決定されることにもご留意ください。

(事務局)

事務局だより

本号のニューズレターNO. 63 より, 新事務局の体制の下で発行されます。これよりしばらくの間, 皆様方のご支援を宜しくお願い申し上げます。

冒頭でご案内した 2020 年度全国大会への積極的なご参加と自由論題へのご応募をお願い致します。また, 本大会より「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」が適用されます。具体的な申請手続きにつきましては, 改めてのご案内まで今しばらくお待ちください。

(事務局 徳永昌弘・林裕明)

**ニューズレターNO.63 発行
2019 年 12 月 10 日**

比較経済体制学会事務局

総務・会計担当 :

564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
関西大学商学部 経商研究棟 徳永昌弘

メンバーシップ・WEB サイト担当 :

525-8577 滋賀県草津市野路東 1 丁目 1-1
立命館大学経済学部 林裕明

事務局メールアドレス :

adm@jacesecon.sakura.ne.jp